

日本ボーイスカウト  
第8回九州・沖縄ブロック野営大会  
(九州・沖縄キャンポリー)

**基本実施要項**



- と き 平成20年7月30日(水)～8月3日(日)
- ところ 雲仙市「百花台公園」
- 主 催 日本ボーイスカウト九州・沖縄ブロック協議会
- 主 管 日本ボーイスカウト長崎県連盟

# も く じ

ごあいさつ	1	19. 医療	11
会場案内図	4	20. 伝達事項	11
1. 開催の趣旨	5	21. 通信	11
2. テーマ及び大会マーク	5	22. ビーバースカウト、カブスカウト及びボーイスカウト見学団	11
3. 会場	5	23. 一般来訪者	11
4. 開催時期	6	24. 友隊（九州・沖縄ブロック外のボーイスカウト等）の参加	12
5. 参加人員	6	25. 特別遵守事項	12
6. 参加資格	6	26. その他	12
7. 参加費	7	27. プログラム	13
8. 参加申し込み	7	28. 第8回九州・沖縄ブロック野営大会組織図	14
9. 参加者の承認	8	29. 第8回九州・沖縄野営大会各部業務役割	15
10. 到着手続	8	30. 献立	17
11. 服装	8	31. 支援・後援団体のご芳名（順不同）	18
12. 携行品	8	32. 集めよう記念サイン	19
13. 組織	8		
14. 安全	9		
15. プログラム	10		
16. 配給	10		
17. 施設	10		
18. 輸送	10		



## ごあいさつ

日本ボーイスカウト長崎県連盟

連盟長 金子原二郎  
長崎県知事

世界スカウト運動100周年を記念して、第8回九州・沖縄ブロック野営大会が、ここ雲仙市において開催できますことを光榮に存じ、大変嬉しく思います。九州各県からご参加いただいた皆様を心から歓迎いたします。

また、各県役員の皆様には、日頃からボーイスカウト運動を通じて青少年の健全育成にご尽力を賜り、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

本大会の舞台となる雲仙市は、日本最初の国立公園である「雲仙天草国立公園」の中にあり、会場となる百花台公園は、雲仙普賢岳を望み、平成2年に第41回全国植樹祭の会場となった緑豊かな場所です。4日間の野営活動を行うには絶好の会場であり、充実した活動が展開されるものと期待しております。

今回、このような風光明媚な雲仙市に、全九州のスカウト1,600余名が相集い、「がまだせ、スカウト 龍になれ!!」のテーマのもと、野営活動を通じて感動を体験し、忍耐と協調の精神を培うことは、誠に意義深いことでもあります。

ボーイスカウトの父、ベーデン・パウエル卿は「みんなが助け合い、みんなが気持ちよくキャンプができるように、快く助け合わなければならない。こうして友情が育っていくのだ。」という言葉を残しています。

同じ目的を持って参加された九州各県のスカウトの皆さんが、この言葉を胸に刻み、日頃の訓練の成果を十分に発揮して、お互いの友情を深め合い、思い出深い大会となるよう心からお祈りいたします。

終わりに、本大会の開催に際して多大なご協力をいただきました雲仙市をはじめ、地元関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本大会のご成功を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。



## ごあいさつ

日本ボーイスカウト長崎県連盟  
理事長 江崎辰男

第8回九州・沖縄ブロック野営大会が霊峰雲仙普賢岳のふもと、自然豊かな百花台の森で開催されますことは、誠に喜ばしい次第であります。これも偏に金子連盟長をはじめとして、県連盟加盟員の皆様方、そして九州・沖縄ブロック協議会の仲間たちの温かいご支援とご協力の賜ものと心から感謝申し上げます。

さて、本年は創始者である英国のベーデン・パウエル卿が、当時の社会情勢を憂い、日本の武士道、葉隠れの精神、白虎隊の話など世界各国の青少年の健全育成に関係する話をまとめ、著書「スカウティング・フォア・ボーイズ」を発刊し世界各国の少年たちの間にボーイスカウト運動の輪が広がって来た年から丁度101年目になります。現状の日本の社会情勢を見ますと、いろいろな問題が発生して、決して青少年を取り巻く環境は良いものとは言えない状況にあります。私たちは、創始100年を過ぎ、新たな出発を始めるにあたり、スカウト運動の基盤となる「ちかい」と「おきて」の精神をより強固なものとして、現状に合った活動を展開していかなければと考えております。そして、本当の意味の逞しい身体と豊かな知識、優れた技能を身につけた、社会に役立つ国際人を育成していくうえで、本大会が新しい出発の時になると確信しております。

また、開催地「島原半島」は、平成2年の雲仙普賢岳噴火災害で甚大な被害が出ました。しかしながら、島原半島の皆さんや九州・沖縄の方々、全国の皆様方の多大なご支援のもとに、このように立派に復興いたしました。その島原半島でスカウト運動を展開しながら、スカウト達に大自然の美しさ、偉大さ、そして優しく、時には激しく私たちを育ててくれるこの自然の尊さを体感して、自分の成長につなげていただければと考えています。

開催テーマの「がまだせ」は島原の方言で「がんばれ」の意味であります。この大会でスカウト達が、日頃の訓練の成果を発揮するのを「がまだして」、龍(自由の意味)になり大空(明日に向かって)に逞しく舞い上がるよう。との思いでテーマを決定しました。スカウト達がこれを契機に大きく前進されんことを期待します。

最後に、この大会の開催にあたり大変なご支援をいただきました九州・沖縄ブロック協議会及び長崎県・市関係各位をはじめ友好団体の皆様方に対し心から感謝申し上げますとともに本大会が安全で盛会のうちに終了しますことを祈念申し上げ挨拶の言葉といたします。



## ごあいさつ

雲仙市市長 奥村 慎太郎

ようこそ「雲仙市」へ

ボーイスカウトの皆様、ようこそ雲仙市にお越しいただきました。5万市民を代表して心から歓迎申し上げます。

平成2年5月、第41回全国植樹祭が開催された、この地「百花台公園」は、生命の源を象徴する緑に多くの人々がふれることができ、安らぎが得られるようにとの願いが込められた地であります。緑いっぱいの公園には芝生広場やふれあい広場、ターザンの森や野鳥の森などがあり、天皇皇后両陛下お手植えの木や国際交流の木、市町村の木もあります。また、同年11月には南に仰ぎ見る雲仙普賢岳が噴火し、その後10年間、島原半島は噴火災害の直接・間接的な被害を受けましたが、全国の皆様のご支援と住民の皆様のご努力により、お蔭様で力強く再生したところでございます。

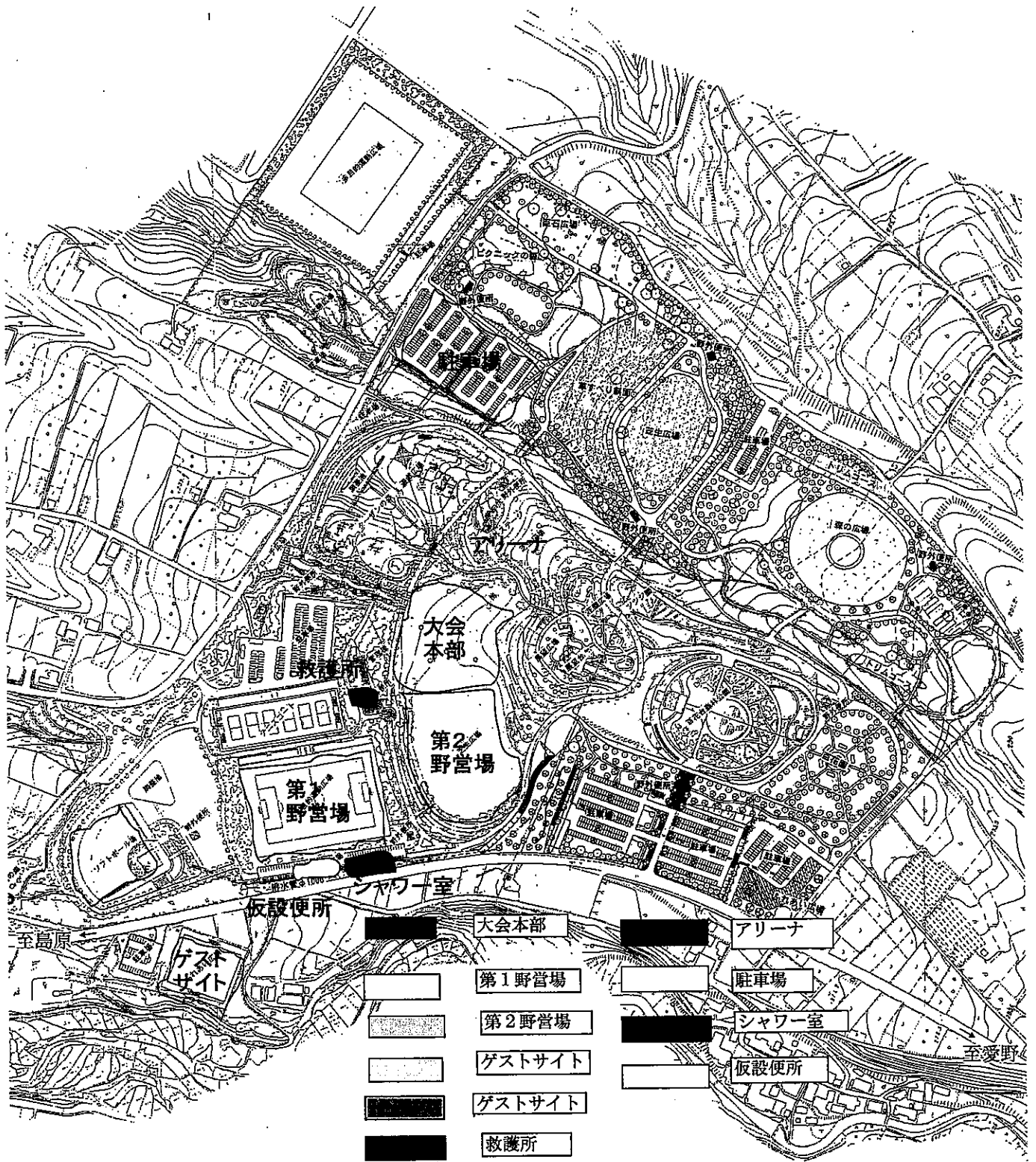
さて、ボーイスカウト活動は、野外を教育の場として展開し、野外活動では、規律・創意工夫・器用さ・自主性・協同精神などを学び、大自然の中でその美しさと偉大さ、尊さを知るとともに、自分自身を知ることが目的とされているとお聞きしております。

また、「SCOUTING」の4分の3（8文字中6文字）が「OUTING」（野外活動）であるともお聞きしたことがあります。月4回の集会をするならば、3回は野外活動で組み立てるといふものさそうです。

雲仙市は山も海も近く、まさに野外活動の場としては最適の地であり、また、農産物、海産物を利用した様々なスカウティングの展開が可能な地であります。自然の中で思い切って体を動かし、地球そのものや、樹木の生命の不思議に触れ、驚き、そして感謝の心を育てていただきたいと思っております。

遠く正面に広大な有明海、背後には雄大な平成新山と普賢岳という自然豊かな百花台の森を満喫され、一回りたくましいスカウトとなられて、それぞれの地でさらに幅広くご活躍いただきますことを祈念し、歓迎のあいさつといたします。

# 会場案内図



## 1. 開催の趣旨

世界217の国と地域で2,800万人のボーイスカウトは、共通の目的と基本原理及び教育方針に基づき、「スカウトは兄弟」をモットーに友情を培い、民族・言語・宗教を超えて国際親善と協力精神を発揮し、世界の平和に大きく寄与している。

ボーイスカウト活動は、野外を教育の場として展開されるよう組み立てられており、野外活動では、規律・創意工夫・器用さ・自主性・協同精神などを学び、大自然の中でその美しさと偉大さに絶対的なものを感じ、自然の尊さを知るとともに、自分自身を知ることが期待されている。

ボーイスカウト九州・沖縄ブロックでは、ここ雲仙市百花台公園に於いて世界スカウト運動100周年を記念して、九州・沖縄各県のボーイスカウトが野営を通じてスカウト同士の友情をあたため更に、広く深めるとともに、日頃の訓練の成果を充分に発揮することを期待する。

## 2. テーマ及び大会マーク

### (1) テーマ “がまだせ、スカウト 龍になれ!!”

大自然の原野こそスカウトの訓練の最高の場である。

われわれはそこに学び、考え、“ちかいとおきて”の実践をするスカウトとして大自然に生まれ、よき友を得て更にのびゆくことを期待する。

### (2) 大会マーク

第8回九州・沖縄野営大会は、全九州のスカウトが、雲仙市国見町、百花台公園に集い“がまだせ、スカウト 龍になれ!!”をテーマにくり広げられるスカウトの祭典であり、21世紀に向けての若人の意気を示す集いである。

## 3. 会場

### (1) 位置

雲仙市は長崎県の南東部、島原半島の北西部に位置しており、諫早市、島原市、南島原市と隣接している。

### (2) 百花台公園

雲仙岳を背景に自然とすんだ空気がとても気持ちいい国見町に百花台公園は有ります。子どもたちのための遊戯施設から本格的なソフトボール場、深呼吸したくなる森林公園まで心がひろく、カラダががんばるを合言葉に大自然をたっぷり遊んだり、楽しんだりできる場所です。

### (3) 気候

昭和59年から平成16年までの平均年間気温は16.4度、平均年間降水量は1,928.7mm平均年間日照時間は2,255.5時間です。

7月、8月に限っては、平均年間気温27度、平均年間降水量50mmから60mmです。

## 4. 開催時期

- (1) 大会期間は、平成20年7月30日(水)の開会式より8月2日(土)の閉会式までとする。
- (2) 野営場開設期間は、平成20年7月29日(火)10:00より8月3日(日)16:00までとする。

## 5. 参加人員

参加予定人数 1,650名

	参加予定	参加隊
福岡県	560名	14隊
佐賀県	80名	2隊
長崎県	160名	4隊
熊本県	200名	5隊
大分県	60名	2隊
宮崎県	120名	3隊
鹿児島県	80名	2隊
沖縄県	80名	2隊
奉仕隊	72名	3隊
ゲスト	80名	2隊
ガールスカウト	40名	1隊
大会本部	118名	
合計	1,650名	40隊

## 6. 参加資格

参加スカウト及び指導者は、会期中のキャンプ生活に耐えうる健康とキャンプ技能を有する者から、県連盟ならびに各団が責任を持って確保する。

### (1) ボーイスカウト

ア 大会参加時、2級以上に進級している者

イ 心身強健であり、8KCの参加者としての自覚とキャンプ技能を有していると認める者

### (2) ベンチャースカウト

ア 野営大会開催時までベンチャー章に進級している者。

イ ベンチャースカウトとして、自ら進んで野営大会の準備及び運営に積極的に協力、奉仕する意欲のある者。

### (3) 参加隊の指導者等

ア 隊長 25歳以上で、WB研修所BS課程修了者。

イ 副長 20歳以上で、WB研修所修了者が望ましい。



- ウ 副長補 18歳以上で、指導者講習会修了者。
  - エ 隊付 18歳以下で、指導力を有する1級以上のスカウト。
  - オ 上級班長 18歳以下で、指導力を有する1級以上のスカウトであり、班長、次長として6ヶ月以上の経験を有する者。
- (4) 奉仕隊の指導者等
- ア 隊長 25歳以上で、WB研修所VS課程修了者。
  - イ 副長 20歳以上で、WB研修所修了者が望ましい。
- (5) 大会長より大会運営のため特に協力を依頼されたもの。
- (6) 九州・沖縄ブロック以外の者で、所属県連盟の正式参加許可を得ているもの。

## 7. 参加費

- (1) 参加費は、14,000円とする。(予納金4,000円、確定申し込み金10,000円)
- (2) 参加費は、次の費用に充てる。
- ア 大会期間中の食料(主食の米は各自持参)
  - イ 参加章、配布書類等の費用
  - ウ 大会施設費、プログラム運営費、庶務、会議費等
- ※ 参加のための交通費等は含まない。

## 8. 参加申し込み

- (1) 予約申込
- ア 参加予定者は予約申込書に必要事項を記入し、保護者の承認及び隊長の承認を受け、予約金4,000円を添えて団委員長に提出する。
  - イ 団委員長は参加承認をした人員を取りまとめ、参加予定者名簿を2部(各県連盟1部、大会本部1部)に予約金(4,000円×人員)を添えて、各県連盟事務局に提出する。
  - ウ 各県連盟は、人員をとりまとめて大会事務局(長崎県連盟事務局)に参加申込みをする。
  - エ 予約金は、返金しない
  - オ 予約申し込みの期限を、平成20年4月30日(水)とする
- (2) 確定申込
- ア 確定申し込みは、確定申込書とスカウトカードに必要事項を記入し、参加費残額を添えて団委員長に提出する。
  - イ 団委員長は確定参加者を取りまとめ、確定参加者名簿2部(各県連盟1部、大会本部1部)に参加費の確定申込金10,000円(残金)を添えて、各県連盟事務局に提出する。
  - ウ 各県連盟は、人員をとりまとめて大会事務局(長崎県連盟事務局)に参加申込みをする
  - エ 確定申し込みの期限を、平成20年6月14日(土)とする。

## 9. 参加者の承認

- (1) 各県連盟事務局は確定申し込みを受けて条件審査した後、「参加承認書」「参加章」その他必要書類を団委員長あてに送付する。
- (2) 参加の承認を受けて在学中の者は、第8回九州・沖縄野営大会参加届けを、それぞれの学校長に提出する。
- (3) 参加の承認を受けていない者は、会場内での宿泊をすることが出来ない。

## 10. 到着手続

- (1) 到着手続きは7月30日 16:00までに完了する。
- (2) 受付で次のことを行う。
  - ア 修正参加者名簿の提出（3部）（参加者の修正があった場合）
  - イ スカウトカードの承認
  - ウ 必要物品の受領（報告書用紙等）

## 11. 服 装

- (1) 開会式、閉会式は、正装とする。（ベレーを着用）
- (2) 自隊のキャンプサイト内は及び作業に従事する場合は、それにふさわしい服装とする。
- (3) 場外のプログラムに参加の時は、別に定める。

## 12. 携行品

- (1) 主食の米は配給しないので献立表に併せて、参加隊で必要量準備する。
- (2) 大集会時の演技用品、交換用記念品を準備する。
- (3) 参加者名簿、スカウトカード等必要な書類。

## 13. 組 織

- (1) 隊の編成

参加隊は40名編成とし、構成については各県連盟の判断に任せるが、スカウトは8名×4  
個班指導者8名を標準とする。

- (2) 本部及び野営区

ア 会場は本部サイト、野営区サイト、ゲスト野営区サイト、奉仕隊サイトとする。

※（ ）内はIDカードの色を示す。

- ・本部 (白色)
- ・第1野営区 (赤色) 各県連を第1野営区、第2野営区に分ける
- ・第2野営区 (緑色)

- ・ゲスト (黄色)
- ・奉仕隊 (青色)

イ 野営区本部は、大会本部内におく。

ウ 県連派遣団本部を設ける。

エ 九州・沖縄ブロック以外の参加隊は、各野営区に分かれ、その所属する野営区と共同して活動する。

オ 野営区の運営は、大会実施要項に基づき野営区長及び参加隊代表で行う。

カ 見学団体の舎営区は設置しない。

### (3) 野営区 (各県連盟の編成と任務)

ア 野営区本部スタッフの選任

各野営区の野営区長、副野営区長等のスタッフ及び要員の人選は、大会本部スタッフ及び要員又は派遣隊等の任務と重複することのないよう充分留意する。

イ 野営区の任務

- (ア) 参加隊への諸連絡、サービス及び隊長会議の主催と要望の解決
- (イ) 本部に委任された選択プログラムの運営と管理及びプログラム全般への勧誘
- (ウ) 全体プログラムの分担と協力
- (エ) 地区野営区の自主活動の企画と運営
- (オ) その他野営区の運営に必要な事項

### (4) 大会本部

ア 大会がよりよい成果を上げるために指導者、専門技術者、その他奉仕者を持って構成する。

イ 大会会議は大会の重要事項を決定し、各部の連絡調整、その他大会運営に必要な処理一切を行う。会議は部長以上と各野営区長を持って構成する。

エ 大会運営組織及び業務内容は別表に示す。

### (5) 大会本部で準備する主な施設

ア 大会本部事務用テント、本部員テント及び付属設備

イ 道路

ウ 各部に必要な業務施設

エ 給水場

オ 救護所

カ トイレ

キ 需品販売

ク 生活雑排水一時集留所

ケ その他プログラム運営に必要な施設

## 14. 安全

### (1) 安全管理組織

ア 第8回九州・沖縄野営大会の安全に関することを掌握するために、野営長を統括安

全管理者として運営本部・野営本部・各野営区・各部から安全管理者及び安全係をおく。安全管理組織図は安全管理ハンドブックに示す。

イ 管理者及び安全係は、安全に関する助言と勧告を行うとともに、責任者の指示に基づいて指導、監督を行う。

## 15. プログラム

- (1) 大会のプログラムは別表の通りとする。
- (2) 国旗儀礼（掲揚 8：30 降納 18：30）
- (3) 各種行事について
  - ア 開会式、閉会式、朝礼は全員正装で参加する。
  - イ その他の行事に参加する場合の服装は別途指示する。
  - ウ 団、隊訪問交歓、各種行事の参加を大いに奨励する。
  - エ 各種行事の実施についての詳細は別途通知する。

## 16. 配 給

- (1) 配給は、配給部を通して隊単位で行う。各隊は数量を確認して受け取ること。
- (2) 主食の米は配給しない。但し必要な場合は予約を受ける。
- (3) 食糧は7月30日（水） 夕食より8月3日（日） 昼食までの12食分を、献立表に従って順次配給するが、一括配給する物品も有るので注意すること。
- (4) 米と氷は、別途予約注文（有料）

## 17. 施 設

- (1) 燃料は、プロパンガス10<sup>キロ</sup>（二股の調整器付）とする。
- (2) 別途予約注文（有料）

## 18. 輸 送

- (1) 各県連盟は人員・資材の往復輸送計画書を作成し、事前に大会事務局に報告すること。
- (2) 各サイトは指定された駐車場までトラックの乗り入れは可能である。  
資材の搬入が終了した後は、指示された駐車場に移動すること
- (3) 7月30日（水） 17：00以降は野営場内に乗り入れられる車は許可車のみとする。
- (4) 撤収時の車両乗り入れは原則として8月3日 6：00以降とする。
- (5) 人員の乗車は原則として指示場所で行う。

## 19. 医 療

- (1) 救護所が設置される。可能な限り参加隊で処理することが望ましいが、本部で処理する場合は、健康保険証の写しとスカウトカードを持参する。
- (2) 診察を受ける者はリーダーと同行し救護班の指示を受けること。

## 20. 伝達事項

- (1) 定期伝達は、毎日11：00 隊長会議に於いて行う。
- (2) 伝達が迅速確実に行われるよう連絡網を整備すること。
- (3) その他緊急事項については本部がスピーカー及び広報車により伝達する。

## 21. 通 信

- (1) 大会期間中は、郵便電報は次の宛名で配達される。  
〒859-1300  
長崎県雲仙市国見町字金山名 百花台公園  
日本ボーイスカウト第8回九州・沖縄野営大会〇〇野営区  
〇〇隊 〇〇 〇〇 宛  
電話番号 (大会本部に臨時電話を設置する)
- (2) 大会期間中公衆電話が設置される。
- (3) 電話の取り次ぎは本部で行う。直接呼び出しできないので、連絡がつき次第返電させる方式による。
- (4) スカウトの会場内での携帯電話の使用は禁止とする。

## 22. ビーバースカウト、カブスカウト及びボーイスカウト見学団

- (1) 見学団は各県連盟ごとに見学団（保護者を含む）を組織し、下記の必要な手続きを経て参加する。
- (2) 見学・参加申し込みは、「見学団申込書」で行う。（申し込み期限は7月5日）
- (3) 参加費は500円とする。（見学者用参加章・参加運営費の一部に充てられる）
- (4) 大会場内での生水の飲用は禁止する。
- (5) 県連派遣団は、本基本実施要項25の特別遵守事項の各条件を熟読理解し、間違いのないように実践させる。
- (6) 宿泊は、斡旋しない。

## 23. 一般来訪者

- (1) 入場は、毎日 9：00、退場は21：00とする。

- (2) 入場する時は、必ず受付で一般見学章（500円）を求めて着用する。
- (3) 少年団体の来訪を歓迎する。但し、責任あるリーダーの引率による。
- (4) 一般参加者のために、傷害保険に加入する。
- (5) 宿泊は、斡旋しない。

## 24. 友隊(九州・沖縄ブロック外のボーイスカウト等)の参加

- (1) 友隊の参加を歓迎する。
- (2) 資材調達、その他の諸問題については、可能な限り相談に応じる。
- (3) 参加費、申し込み要領は本基本実施要項に準ずる。

## 25. 特別遵守事項

- (1) 大会会場では、残菜、空カン、紙屑等、不用品の埋め込みを禁止する。  
※すべて場外搬出とするので、野営管理部の指示に従う。
- (2) 会場内を流れる水路は、下流の地区住民の大切な生活用水である。  
水路内での洗濯、水浴、食器洗い、物の投げ入れ等、一切の汚染行為を禁止する。
- (3) 全スカウトは、一般来訪者に対して、常に親切と好意を持って接するよう心がけ、先ず大きな声で挨拶をする。
- (4) 全スカウトは大会期間中はもとより、旅行中に於いても「ちかい」と「おきて」を実践して責任を持って行動する。
- (5) 各参加隊は、水の取り扱いについて特に注意する。
- (6) 大会会場内での拾得物、ならびに紛失物は大会本部野営管理部に届け出る。
- (7) 大会本部が許可した以外の車は総て指定駐車場におく。
- (8) 参加隊の大会期間中におけるエキスカーションは行わない。本大会に参画する全指導者は、大会運営に際して常に建設的、平和的な意見の交流につとめ、スカウト達がこの大会を心身共に満たされたものに完成させる。
- (9) 無線機及びトランシーバーは大会本部が許可する以外のもは一切使用禁止とする。
- (10) 会場は草地のため、直火は絶対使用しないよう注意すること。
- (11) テントサイトにおいては、排水設備等設置のための工作物はしないようにすること。
- (12) 生活雑排水については、設置してある生活雑排集積場に持ち込むこと。テントサイト及び近くの排水路には捨てないこと。なお、自前のろ過器を作成し環境保全に十分注意すること。
- (13) 環境保全のためエコ石鹼(シャンプー)エコ洗剤の使用しか許可しない。

## 26. その他

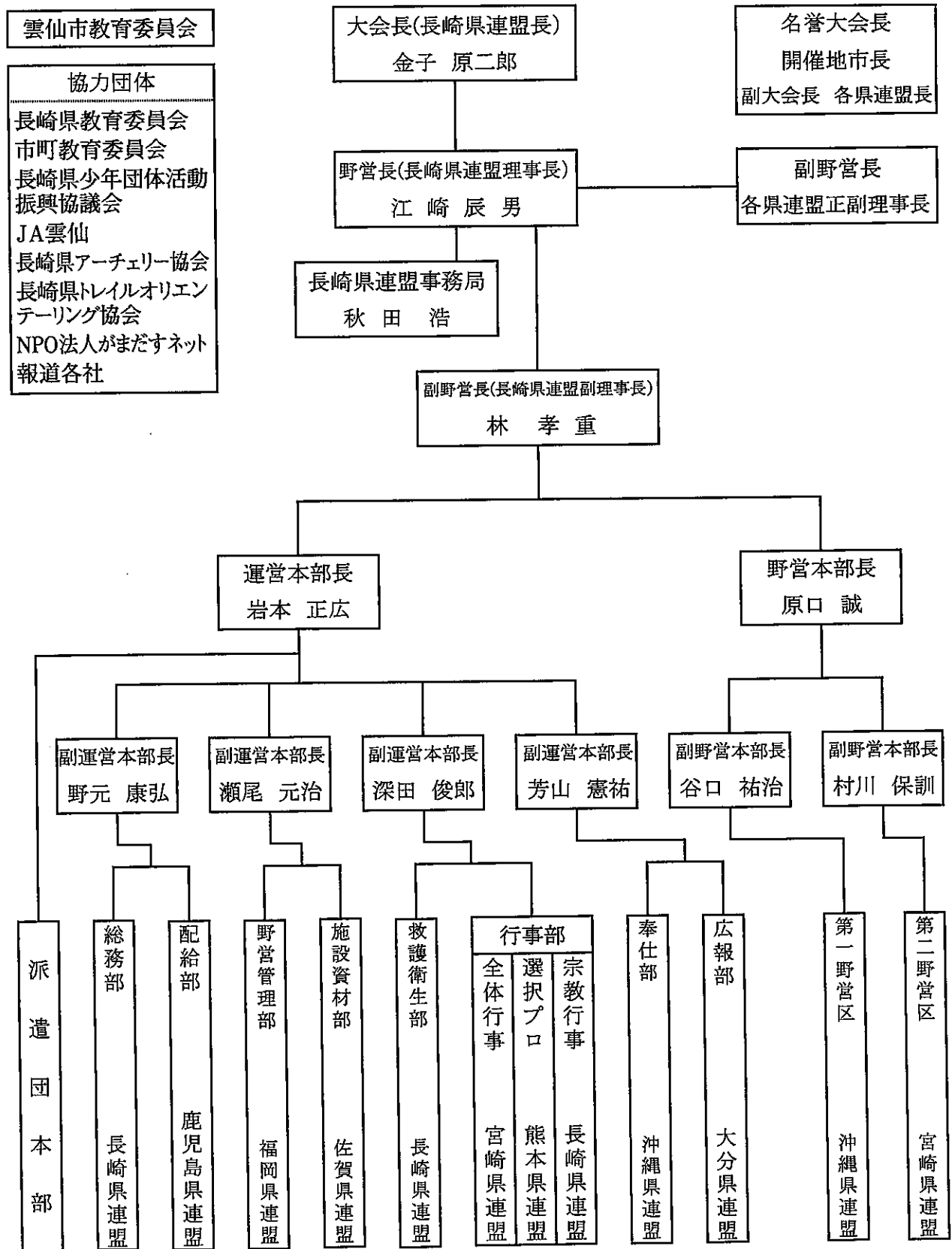
- (1) 各部業務要領(参加隊長の手引き)については、作成次第順次通報するので、関係リーダーは熟読して、大会運営に支障のないよう注意すること。

## 27. プログラム

	30日(水)	31日(木)	1日(金)	2日(土)	3日(日)
午前	設営開始	9:00 選択プログラム ↑	9:00 宗教儀礼 ビーバー・カブディ ↑	9:00 選択プログラム ↑	7:00 撤営開始  ※昼食分まで配給
午後		↓ 選択 プログラム 16:30	↓ 選択 プログラム 16:30	↓ 選択 プログラム 16:30	15:00 本部撤営完了
夜間	19:00 開会式	19:00 自主プログラム	19:00 大集会	19:00 閉会式	

- (1) 国旗は、各野営区で上げる
- (2) 場内プログラム 派遣団本部 お国自慢クイズ……

## 28. 第8回九州・沖縄ブロック野営大会組織図





## 29. 第8回九州・沖縄野営大会各部業務役割

部名	役 割 内 容	
総務部	庶務会計	● 大会事務、予算経理、決算事務
	受付業務	● 参加申込、見学申込、一般来訪者受付、参加章交付、人員の把握
	渉外	● 来賓、来訪者の接待、関係当局、業者との対外折衝、連絡
	通信	● 会場内外の通信連絡、電話、電報、郵便の取り扱い
	国際	● 国際関係事項の処理に関すること
		● 外国派遣団の送迎、受付、登録に関すること
		● 外国派遣団の生活に関する関係部・SCとの連絡調整に関すること
	輸送	● 人員、資材等の輸送計画の立案と実施、一般道路の大会関係車両の規制
		● 本部車、緊急連絡者の運用と手配
		● 大会前後の環境資料の配付 ● 本部運用車の燃料管理
需品	需品	● 売店、需品売店の斡旋管理、大会記念品、ジュース等の売店の管理
広報部	報道	● 報道関係者の取材案内と連絡
	広報	● 大会ニュースの発行、配布
	記録	● 大会の記録、アルバム、ビデオの作成
配給部	食糧配給	● 献立の作成、炊事指導、食糧等の資材の購入保管、業者との折衝、食糧配給
	本部給食	● 本部スタッフの給食対応
野営管理部	警備	● 野営場内の巡回警備、緊急時の遭難誘導
	生活指導	● 時間厳守、服装等スカウトの自覚により指導、国旗の掲揚と降納、時報予告、拾得物の処理
	交通整理	● 会場内外の交通整理、駐車場の使用指導
	環境保全	● 水くみ場、便所等の管理指導、塵埃等の収集の管理指導
	野営区割り	● 野営区割り、野営区長と合議の上、隊サイトの区割り
	消毒	● 大会前における会場内の消毒、害虫駆除
救護衛生部	医務診察	● 医師、看護師の派遣要請、救護所の設置、傷病者の救護活動 救急医療
	救急医療	● 救急車両の取り扱いと管理
施設資材部	設営設計	● 会場諸施設の設計施行者、委託業者との折衝
	資材	● 各部からの要請資材の準備確保
	電工	● 電気配線、放送施設、照明等の管理、電話の設置
	給水	● 給水施設、シャワー施設の管理、支援隊との連絡
	工具	● 工作用具一式の準備
奉仕部	奉仕	● 各部からの要請計画書による人員派遣
		● 本部業務への支援
		● 奉仕活動の調整

部名	役 割 内 容	
行事宗教部	宗教儀礼	● 各宗教別の儀礼の計画案と実施
	行事進行	● 諸プログラムの円滑な運営のための連絡調整
	式典	● 開会式、閉会式の立案準備運営
	主な活動	● 選択プログラム、催し物立案準備運営
		● 全体プログラム
● 選択プログラム		

### 30. 献立

	30日(水)	31日(木)	1日(金)	2日(土)	3日(日)
朝食		<ul style="list-style-type: none"> <li>・焼き魚</li> <li>・みそ汁(インスタント)</li> <li>・ふりかけ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンサンド</li> <li>・くだもの</li> <li>・牛乳、コーヒー牛乳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワカメスープ</li> <li>・スプリングエッグ</li> <li>・トマト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菓子パン</li> <li>・牛乳、コーヒー牛乳</li> <li>・ヨーグルト</li> </ul>
		焼き魚は、アゴ(とびうお)の干し物玄海天然魚を検討中	食パンにスライスチーズ、ハム、レタスをサンド	スクランブルエッグは、各隊のオリジナルで	4日目の夕食時に朝食、昼食を支給予定
昼食		<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐世保バーガー</li> <li>・皮付きポテト</li> <li>・果物</li> <li>・スポーツドリンク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トルコライス</li> <li>・サラダ</li> <li>・ジュース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島原そうめん</li> <li>・おにぎり</li> <li>・果物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎カステラ</li> <li>・ジュース</li> <li>・一口ゼリー</li> </ul>
		昭和25年頃アメリカ海軍から直接レシピを聞いて作り始めたのがはじまりでボリューム万点	ナポリタンとケチャップライスを半々に作って、カツレツを載せたもの(カツレツ検討中)	地場産のそうめん、シーチキンやキュウリ等と一緒に食べましょう	長崎カステラは、小袋のものを検討中食べてもよし、お土産にもよし
夕食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎皿うどん</li> <li>・わかめご飯</li> <li>・野菜ジュース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奄美の鶏飯</li> <li>・野菜の和え物</li> <li>・くだもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎チャンポン</li> <li>・餃子</li> <li>・びわゼリー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具雑煮</li> <li>・フルーツポンチ</li> </ul>	
	パリパリに揚げた細麺に豚肉、野菜魚介類の餡かけをかけたものです	奄美の郷土料理でスープをとり、具沢山の贅沢なお茶漬けの様なものです	豚肉、魚介類野菜類を炒め麺は、スープで鍋炊きします	普通の雑煮に鶏肉、白菜など山海の幸をふんだんに使った贅沢な雑煮です	

※当日の諸状況により一部変更もあり得る

※手洗いや、消毒液等の準備もすること

※O-157対策として生野菜も必ず75度以上で加熱する

### 31. 支援・後援団体のご芳名（順不同）

福岡県	雲仙市警察署
福岡県教育委員会	小浜消防署
佐賀県	NHK長崎放送局
佐賀県教育委員会	NBC長崎放送局
長崎県	KTNテレビ長崎
長崎県教育委員会	NIB長崎国際テレビ
熊本県	NCC長崎文化放送
熊本県教育委員会	長崎新聞社
大分県	朝日新聞社
大分県教育委員会	毎日新聞社
宮崎県	読売新聞社
宮崎県教育委員会	西日本新聞社
鹿児島県	長崎県医師会
鹿児島県教育委員会	社団法人南高医師会
沖縄県	雲仙市商工会
沖縄教育委員会	社団法人雲仙観光協会
雲仙市	NTT西日本長崎支店
雲仙市教育委員会	長崎県交通局
島原市	長崎バス株式会社
島原市教育委員会	島原鉄道株式会社
南島原市	長崎県JA
南島原市教育委員会	JA島原雲仙

## 32. 集めよう記念サイン





# 花はかおるよ (連盟歌)

©JASRAC 高原しげる 作詞  
©JASRAC 山田 耕彦 作曲

Maestoso ♩=120



1. は な は か お る よ は な の か に ひ  
2. ま な こ ひ ら き て み き わ め よ み



は か が や く よ ひ の ひ か り わ れ  
み そ ば だ て て き き た だ せ わ れ



ら に め い よ の お も き あ り か お り か ひ  
ら に ふ だ ん の じ ゅ ん び あ り て あ し に こ



か り か あ め い よ め い よ め い よ お も き め い よ  
こ ろ に あ あ じ ゅ ん び じ ゅ ん び じ ゅ ん び か た き じ ゅ ん び



フレスカウトわれらのめいよぞおもき  
フレスカウトわれらのじゅんびぞかたき

JASRAC出0800105-801

## ●連盟歌「花はかおるよ」

花は薫るよ 花の香に  
日は輝くよ 日の光り  
われらに名誉の重きあり  
薫りか 光りか ああ名誉  
名誉 名誉  
重きぞ 名誉 フレッ フレッ フレッ  
スカウトわれらの 名誉ぞ重き

眼開きて 見きわめよ  
耳そばだてて ききただせ  
われらに不断の準備あり  
手足に 心に ああ準備  
準備 準備  
固きぞ 準備 フレッ フレッ フレッ  
スカウトわれらの 準備ぞ固き